



発行所
滋賀県長浜市宮部町 2410
滋賀県立虎姫高等学校内

姉水会

〒529-0112
TEL 虎姫 0749-73-3055(代)

印刷 株式会社サラト

次の時代をになう 人材育成に取り組む我が母校

役立つ電子黒板

姉水会会長 木下善正

姉水会会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことお慶び申しあげます。さて、昨年8月姉水会総会において会長という大役をお受けして以来、1年が経とうとしております。もとよりその器ではありますんが会員の皆様のご協力によって今日を迎えており、深く感謝いたしております。

この1年、東北震災、台風被害、竜巻被害、等々日本列島は自然災害の猛威にさらされています。政治の閉塞感、経済の停滞、さらに

は痛ましい交通事故も頻繁におこっています。日本が壊れつつあるのではないかと思ってしまいます。日本が壊れつつあるのではないのかと思つてしまふようなこのごろです。

しかし、これらの現象は究めて大胆な発想ですが、新しい価値観を求める時代への過渡期に起きる現象ではないでしょうか。そして、本当に幸せな時代を構築していくために、次代を担う人材の育成は喫緊の課題であると考えられます。

母校、虎姫高校は現在、SSH（スーパー・サイエンスハイスクール）研究開発課題…国際的な視野に立った将来の科学者・技術者及び科学技術の発展を支えコントロールする市民を育成する為の教育プログラムの研究開発文部科学省の指定を本年度より受けられ、高校全体で取り組んでおられます。その取り組みの中で90周年事業で各教室に導入された電子黒板がおおいに役立っているようにお聞

これらの研究を進めるにあたっては学校長はじめ先生方のご苦労は大変であろうと推察されますが、湖国をひいては日本を担う人材の育成のためにおおいに役立つものであろうと思います。立派な成果を上げていただくよう姉水会としても全力で応援していくたいと考えています。会員の皆様の尚一層のご支援、ご指導、ご協力をお願いし、合わせて、益々のご活躍をお祈りする次第です。

平成二十四年度 「姉水会」総会のご案内

●日程 平成二十四年八月四日(土)
午後 13:00～13:30 理事会

13:30～14:00 総会

14:00～14:30 講演会

●場所 母校大会議室(第三棟二階)

●講演会 演題 「バイオビジネスと
バイオ教育の最前線」

講師 長浜バイオ大学学長 三輪正直 氏
●懇親会
●魚作棲
会費 五,000円

※ 参加いただける方は、七月下旬までに姉水会事務局へご連絡下さい。総会あるいは講演会のみの参加でも結構です。

姉水会事務局
FAX TEL 0749-73-3055
○七四九一七三一九六七



平成24年7月9日

姉

水

ご挨拶

校長 西嶋博純



「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」 滋賀県立大学の今とこれから～

滋賀県立大学副理事長・事務局長 川口逸司（高20回）

姉水会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は母校に対しまして多大のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この春卒業しました64回生は国公立大学後期試験まで粘り強さを發揮し、大いに健闘してくれました。本校に期待されることは湖北の進学校として将来各方面で活躍する優秀な人材を育成することあります。そのためには生徒たちに第一志望の大学等に合格できる学力をつけ、HRや部活動、学校行事を通して豊かな人間性と体力を育んでいくことが重要だと考えております。

学力とは「学ぶ力」だと言われます。単に知識を受け入れるのではなく、「なぜ」という疑問を持ち主体的に学ぶことで理解が深まります。生徒により深く、より面白い学びの機会を増やし、さらに魅力ある高校にしたいとの思いで、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の申請をすることに決めました。

これまでの「高大連携事業」などの実績を生かした虎高らしいSSHの内容を昨年度1年かけて全教職員で研究し、申請した結果、文部科学省より今年度から5年間、SSHに指定されました。虎高SSHのコンセプトは“Science for all”です。理系、文系問わず全ての生徒が「科学技術リテラシー」を身に付け、将来、科学技術はもとよりあらゆる分野で活躍してくれることを期待しています。

一方、学力と並んで重要なのが強くたくましい心身の育成であります。社会が豊かで物質的に恵まれているためか、忍耐力に欠け、失敗を恐れてチャレンジしない若者が多いと言われます。本校では互いに励まし合いながら忍耐強く困難を乗り越えていくことの大切さを教えたいと1年生に様々な体験学習を行ってきました。昭和48年から富士山登山、白山登山、夜間踏破、平成16年からは伊吹山登山を実施し、現在は若狭青少年自然の家で宿泊体験を行っています。この学年行事は生徒にとって「質実剛健」を肌で感じ、母校愛を育てる機会でもあります。

虎高の良き伝統となっています。「不易流行」ということばがあります。質実剛健の校風を始めとする良き伝統と90周年記念事業で導入いただいた「電子黒板」の活用やSSHの新たな取り組みをうまく併せつづ、本校教育に教職員一丸となつてあたつてまいります。

皆様には今後とも、母校に対しまして、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

私の仕事のこれまで

滋賀県立大学の話の前に、38年間務めた滋賀県庁での仕事のなかで感じたこと、つまり仕事を進める上で人と人との縁、絆がいかに大切であったか、いかに周りの皆さんに助けてもらひながら仕事をしてきたかということをお話しします。

私の県庁生活の前半は、主に税金に関する仕事でした。税金というのはしつかり理論を習得してわかりやすく説明する能力が必要ですし、仕事を通じて県内各市町の多くの職員の方々と知り合えたことは後々大いに役立ちました。

その後滋賀県立大学とびわ湖ホールの開設準備に携わりましたが、この二つの大事業は、研究者や芸術家などの思いや衝突を調整する必要があり、オープンの期限が決まっているため徹夜に近い状態が続くなど大変な仕事でした。

県立大学の日高敏隆初代学長、びわ湖ホールの初代赤松館長や若杉弘芸術監督らと接する中で感じたのは、学問や芸術それぞれの分野で超一流の方々は、人の話を聞く耳を持つていることでした。「実るほど頭を垂れる稻穂かな」です。

滋賀県立大学のこれまで

滋賀県立大学は平成7年4月、「キャンバスは琵琶湖。テキストは人間。」のキャッチフレーズのもと、環境科学部、工学部、人文文化学部という当時の先進的な3学部で開学し、17年目になります。学年進行に応じて大学院修士、博士課程を開設し、同15

ミニ政権交代

その後従事した行財政改革では、総合商

年には新たに人間看護学部も増設して、18年からは「公立大学法人」として独立し、20年に工学部に「電子システム工学科」を新設しました。

公立大学法人に衣替えして6年になりますが、それは、設立した滋賀県から独立して自律的な運営、つまり人的資源、研究資金、管理運営等を大学の自主決定のもとで行うと同時に自ら責任を持ち、外部から評価を受ける、そうした循環を目指しています。

滋賀県が定めた6年間の「中期目標」に基づいて、大学が自ら「中期計画」、「年度計画」を策定して日々運営に当たっています。学生数は本年度で大学院生を含めて2,740名、うち県内出身者が約36%を占めています。県内高校から推薦で約20%が入学し、前後期の一般入試の合格者の約2割が県内出身者ということになります。

大学の役割の変化

大学は時代の要請に応じて、その役割を変化させなければなりません。

まず「教育」の分野では、これまで大学は「後継者（研究者）の育成」を目標としていましたが、「社会のための人材育成」へ変化しています。

二つ目の柱「研究」面でも、研究者自身の好奇心に基づいた学問のための研究から、社会のための研究へと変わっていきます。昔



県立大学は、滋賀県とびわ湖を研究や教育活動のフィールドとして個別の地域課題に取り組むことによって普遍的な仕組みや論理を探り、その成果を国際的に活用することで社会に貢献することを目指しているのです。

国際コミュニケーション学科

新学科では、グローバル化する現代社会に適切に対応する「知と実践力」を養うカリキュラムを通じて異文化や国際社会を理解・体験し、外国語によるコミュニケーション能力を向上させます。

のようないくつかのテーマについて延々とノートを読むような講義ではなく、今はあらかじめ15コマ分のシラバス（授業計画）を公開し、授業に工夫をこらし、学生に勉強させるような仕組みが必要なのです。つまり、大学で何を教えたのかという教員側からの観点ではなく、卒業する学生がきちんと知識・能力を身に付けたかどうか、学生側から評価をすることが大切だと言えます。

三つの柱「社会貢献」でも、施設を開き研究結果を提供したらよいのではなく、産官民と連携していくことが求められており、県立大学は「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」ことをモットーにしています。

例えば、スチューデントファーム「近江楽座」と銘打って、地域の課題に大学も学生も取り組み、地域の活性化に向けて地域の人々と共に活動することで、学内では学べないことを体験し習得する仕組みを作っています。昨年度、「近江楽座」の25プロジェクト内でも、古民家などの伝統的建造物の再評価と活用を行い、「湖北戦国プロジェクト」を立ち上げています。

また、大学院生や社会人を対象に「近江環人地域再生学座」を開設し、修了した方には地域診断・地域再生のオーガナイザーとして、「コミュニケーション・アーキテクト」の称号が与えられます。

日高敏隆初代学長は、よく「個別・具体

正に「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」です。

県立大学のこれから

昨年5月に、2020年を見据えた県立大学の将来構想「U.S.P.2020ビジョン」を策定しました。時代の変化をとらえ、学生の満足度が高い大学、地域や産業界と連携し創造的な研究に取り組む大学を目指そうとするものです。そのため、

これまでの教育・研究・社会貢献の三本柱に加えて、グローバル化が進む社会で求められる人材を育てるため、「国際化」を四本柱に加えました。その具体化のため、来年の4月から「国際コミュニケーション学科」を創設します。

日本の進学率は約50%ですが、OECD諸国の中では下位に属しますし、人口1,000人当たりの大学院学生数は2人と少なく、むしろ低学歴社会だと言えます。

アジアからアメリカへの留学生数は、中国、韓国、インドがここ10年ですごく伸びているのに対し、日本は減少しつつあります。アンケート調査によりますと、大学が重要と考えている「学士力」は、問題解決力やリーダーシップ、創造的思考力などですが、企業が求める能力は、コミュニケーションスキルや自己管理力、リーダーシップ等であり、両者にはズレが見られます。語学力の比較では、日本は香港、韓国、台湾、中国より下位で、最低ランクになります。

入学後6か月は英語漬け。留学に向けて語学を集中的に学ぶカリキュラムになっています。卒業時には全員がTOEIC試験で730点以上取ることを目標に、少人数での演習などを通してしっかりとサポートする予定です。

2年次後期になつたら原則として半年間から1年間海外留学しますが、4年間で卒業できるシステムについています。

おわりに

今は大学も変革が必要です。滋賀県立大学は、今後とも自ら変える大学を目指して運営していくかねばなりません。最初に申しあげましたように、周りの方々の力を活かし活かされながら改革を進めていきたいと思っています。



傘寿を越え20回目で打ち止め

平成23年10月15日（旧制度で5年制）虎
第24回卒で、虎高第1回卒の最終同級会を北ビ
コホテル・グラツィエで開催した。最終というのも
は、傘寿を超えたので一応の区切りをつけたもの
である。現役時代には5年目ごとに、定年を迎
る頃からは毎年開催してきた。昭和48年に第1回
を開いてよりちょうど20回目となった。昭和18年
に入学したのは165名（55名ずつの3クラス）で、
通知を出した90名中、30名が参加してくれた。

が参加者一人一人の四つ切版の肖像写真を作成してくれた。三家君も全員に陶芸作品を配布してくれた。



虎中24回虎高1回同級会 平成23年10月15日 於:北ビワコホテルグランヴィエ

平成二十三年十月七日、虎高第三回卒同窓会を、長浜ロイヤルホテルで開催、三十七名一年振りの再会を喜び合った。齡八十、校歌の作詞者巖谷小波について、要点を書き留めて置きたいと想う。小波は、日本児童文学の創始者で、子供の発見である。子供向読物の開拓、お伽噺の創作、子供雑誌の創刊、子供文化の王道を歩み、明治を代表する大家である。

滋賀県立虎姫高等学校 第3回卒業生同窓会 平成23年10月7日 於:長浜ロイヤルホテル

この10年ばかり、毎年12頁程度の消息集を作成してきたが、表紙を飾るのは、造形芸術家の須川常美君、能面作家の河瀬賀計君、陶芸作家の三家善雄君、画家の吉川伊代治君などの、いずれも見事な芸術作品である。今回はさらに、中原清雄君が、全20回の同級会記録写真や、20回とは別に行つた地方別の懇親会などの写真集『軌跡』を作ってくれた。13歳入学当初のクラス名簿、修学旅行、卒業記念写真、過去の寄せ書きまで調べたもので、

きてきたわけであるが、日本経済の高度成長期にあって、努力し易い時代だったのだろうか、それの道で、みんな良くなってきたと思う。努力が実る良き時代であった。そんなことを確かめあって会を続けることが出来た。

常任幹事役をやらせてもらつた一人として、ヒューキヤツでござられた、素晴らしい学年であったと申う。これは、一つには事務局長として中原清雄君が手抜きをせずにお世話を勤めてくれたこと、同級生諸氏が会費を拠出してくれたこと、雨森正章君らから特別の寄付金をいただけたこと、それと共に、姉水会の記念行事に対する募金活動にも支援された母校愛によるものであつたと感謝している。ご同輩の皆さん、ありがとうございました。

全員に通知を出す会合は20回目をもつて打ち止めとする。でも、まだ長浜中心の会は続くことだろう。

素敵な挿し絵の皮表紙の本で夢中になる。小波は後に、メルヘン集は自分を、お伽作家にした運命の本と書いている。小波は医者を嫌い、大学予備門の入試に白紙解答を出し、尾崎紅葉らと交わり、友社に入り創作活動を始め、お伽噺や小説を書いている。隠れて書いた作品を兄に破り捨て、する事件も起る。滋賀出身の著名な学者で、とも親しい杉浦重剛が主宰する家塾、江洲郷の父の勧めで加わり、小波を心配する重剛が父を説得、二十歳晴れて文学で身を立てることとなる。二十二歳こがね丸を発表、序文は森鷗外の年次失恋事件を起こす、紅葉これを題材にぐれ、夜叉を創作、間貫一は小波がモデルと噂される。二十九歳水口の富森家に嫁いだ姉幽香の紹介による。三十七歳文部省図書課嘱託となり、教員の山村勇子と結婚、子供は四男三女をもうけ、三十一歳ベルリン大学東洋語学校の講師となり、年間渡欧する。三十四歳早稲田大学文学部講師となる。三十七歳文部省図書課嘱託となり、教員

巖谷小波は、明治三年七月、東京麹町駒井町に偉大な父親、一六の三男として生まれる。本名は季雄^{ヨシコ}、生後間もなく母親と死別、五歳迄里子に出される。八歳からドイツ語学校に学ぶ。十一歳ドイツ留学中の兄から、オットーのメルヘン集を贈られる。



約束の五月五日は天候にも恵まれ、会場となつた北ビワコホテルには、当初の予想を超える八十名の懐かしい仲間が集まりました。恩師の松島正隆先生と、片桐憲夫先生にも御出席していただき、開会の冒頭で、物故者となられた恩師と同級生への黙祷を行ったあと、二十二回生同窓会長の藤森了堅君の挨拶で始まりました。

「五年後の五月五日に再会しよう。」と前回、平成十九年夏の同窓会で約束をした今回の同窓会は、全員が還暦を迎えるこの三月末に退職をした者も多かつた。

約束の五月五日は天候にも恵まれ、会場となつた北ビワコホテルには、当初の予想を超える八十名の懐かしい仲間が集まりました。恩師の松島正隆先生と、片桐憲夫先生にも御出席していただき、開会の冒頭で、物故者となられた恩師と同級生への黙祷を行ったあと、二十二回生同窓会長の藤森了堅君の挨拶で始まりました。

二十一回生同窓会報告

二十三回生同窓会報告

平成24年1月2日に『還暦同窓会』として卒業以来4回目の同窓会を開催しました。私たちの同級生は、辰年と巳年になり、正確には来年の人たちもいますが、大半の同級生が還暦を迎えます。人生60年、卒業して38年になるわけです。職場でもこっちでも・・・今まで5年おきに同級会を開催していましたが、次回からは3年おきにしようと、いうことで皆さんの同意をいただきました。

私は同級生は、251名ですが、物故者が18名もいます。他と比較するとかなり多いようです。今回の参加者は55名でしたが、回を重ねるうちに親しさもより増してきてアツという間に時間が過ぎてしまいました。先生方は西岡月枝先生を始め瀬辺勧先生、北川貢造先生、永八郎先生、敷内徹先生にご出席をいただきました。残念ながら笛原正隆先生、野口元一先生には、体調不良とのことでご出席いただけませんでした。西岡月枝先生はご高齢にもかかわらず、「皆さんが還暦だということで出席させていただきました」とご挨拶されました。私たちもこの歳になると恩師が同級生か、わからぬほどですが、同級会に出席できる幸せ、喜びを皆で共有させていただきました。初めて参加してくれた人もいましたが、やはりどことなく趣があり遠い学生時代にタイムスリップしたようでした。

第2部の宴から参加したものも多く、会場のグランパレー京岩では予想以上に盛り上がりました。ここ数年は出欠の返信の際に書いてもらつた近況をまとめて出席者に配布しているのですが、今日はP.Cメールで欠席連絡があつた人にも皆さんの近況や当日の写真を見ていただけるようにしました。またフェイスブックで連絡をとりあつたりもしました。これも時代の流れなのかと思いま

母校と小波を結ぶ絆、それは杉浦重剛である。滋賀県議会第十六代議長、横田隆治氏は交友深い重剛に校歌の事を相談、重剛は滋賀県人の巖谷小波を推薦。大正十三年十月二十七日虎姫に尋ね、校庭から雷峰伊吹を仰ぎ、中野山から雄大の琵琶湖を眺め構想を練り、大正十四年五月十日、大正天皇銀婚の式典を祝し、正式に校歌の作詞を依頼、同二十日、校歌は校長先生の元に届き、早速、大阪の永井幸次氏に作曲を依頼、格調高い立派な校歌は誕生したのである。開校当時の先人先輩のご労苦と、校歌の作詞者巖谷小波先生、作曲者永井幸次先生に感謝の誠を捧げたい。（長谷川隆男）

小波は生涯に、子供を対象にした、少年少女小説、児童劇、歌劇、シナリオ、童謡など、児童文学すべてのジャンルに及んでいる。他に小波は、膨大な数の俳画を残している。桃太郎、蝸牛、刀、雛人形、獅子頭、達磨、鳥居、にわとり、富士、等を好んで書いた。

母校と小波を結ぶ絆、それは杉浦重剛である。滋賀県議会第十六代議長、横田隆治氏は交友深い重剛に校歌の事を相談、重剛は滋賀県人の巖谷小波を推薦。大正十三年十月二十七日虎姫に尋ね、校庭から雷峰伊吹を仰ぎ、中野山から雄大の琵琶湖を眺め構想を練り、大正十四年五月十日、大正天皇銀婚の式典を祝し、正式に校歌の作詞を依頼、同二十日、校歌は校長先生の元に届き、早速、大



の年なので藤森会長の発案で「これからはオリンピック開催の年に四年毎に出逢おう」と約束し、ほとんど全員が二次会へと流れました。

（文 幹事 松井善和）



三十一回生同窓会報告

私たち虎姫高校第32回卒業生は、4年に一度オリンピックイヤーに同窓会を開いています。いつ頃から始まつたのか確かな記録はなく、記憶も曖昧なのですが6回以上は続いております。それは正月であつたり、お盆であつたり、各地で生活している学友が帰省しやすい時期に開かれ、毎回多

くの同窓生が集い、杯を酌み交わしながら、近況にまた昔話を花を咲かせています。当时お世話になつた先生方もご出席いただいています。



（文責 山崎正直）

文部科学省より

スーザン・ハイスクール(SSH)の 音楽教育

(平成24年～28年度
5年間)

指定を受けました。

■本校のSSHとは

本校のSSH事業における研究開発課題は、「国際的な視野に立った将来の科学者・技術者及び科学技術の発展を支えコントロールする市民を育成するための教育プログラムの研究開発」です。

論理的な思考力を涵養することで、理系生徒には「国際的な視野に立つ科学者・技術者」としての資質を、文系生徒には「科学技術の発展を支えコントロールする市民」としての資質を育成します。

この事業は「高等学校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発、大学や研究機関等との効果的な連携策についての研究を推進し、将来有為な科学技術人材の育成」を目的としており、イノベーションの創造を推進する独立行政法人「科学技術振興機構（略称JST）」を通じて、総額約5,600万円（5年間の概算）の支援を受け、実施する事業です。

S S H 支援事業の指定を受けるにあたり、「虎姫高等学校」で生徒に提供したい確か力は何かを、全職員で論議しました。そこで本校生徒に身につけさせたい確かな力とは、次に示す「3つの力」と「2つの態度」であると定義しました。この力は、人間の生きる力・実践力・一般的学力などを伸ばす基礎になるもので、S H 事業で育成したい科学的素養の土台にもなるものです。

探究力……探究力とは、知を活用しながら、知を創出する力のこと。疑問を見つけ、課題を設定、解決方法を考案して、試行錯誤しながら行動して乗り越える力。

事業内容

多くの事業を実施します。その内容は次のようなものです。（抜粋）

1.『究理Ⅱ』(2年生) &『究理Ⅰ』(1年生)
『究理Ⅲ』では、調べたハ研究課題を決め、実験

タの整理と考察、論文の作成、英語によるプレゼンなどを行います。

長浜姉水会から写真が届きました。



長浜姉水会第33回総会 平成23年11月12日 於 魚作樓

滋賀県立虎姫高校創立90周年記念事業収支 最終報告

☆昨年の会報で記念事業の中間決算報告を致しましたが、その後の収支について報告させていただきます。

【收 入】			
項目	内 容	金 額	
收 入	(中間報告時の額)	27,483,361	
寄 付 金		9,760	
利 息		1,355	
收 入 合 計		27,494,476	
【支 出】			
項目	内 容	数量	金 額
支 出	(中間報告時の額)		22,220,310
電子黒板 関係	電子黒板 (ActivBoard)	4	3,990,000
	ノートパソコン・書画カメラ	4	606,816
	パソコン収納箱	4	105,000
	短焦点プロジェクター	1	262,500
	遮光カーテン	4	157,300
	周辺装置・備品等		152,550
	小 計		5,274,166
支 出 合 計		27,494,476	
【残 高】		収入総額	27,494,476
		支出総額	27,494,476
		差引残高	0

平成24年度 姉水会役員（敬称略）

(長浜姉水会事務局長)

(大阪姉水会会长)
(長浜姉水会会长)
(県庁姉水会会长)

「究理Ⅰ」では、「究理Ⅱ」の基礎となる力を付けるために、サイエンスフィールドワークやミニ課題研究などをています。

4. 電子黒板を活用したプログラムの研究開発
90周年記念として設置していただいた電子黒板が、
SSH事業において大きな役割を果たします。すでに、
フィンランドの高校生との交流を行つたりしています。
SSH事業では電子黒板のさらなる活用方法を研究します。例えば、大学教授からの指導助言を教室で受け
たり、実験結果を瞬時に提示・活用するといったことが考えられます。また、タブレットPCなどの利用で、
生徒と教員の双方から授業参加できる可能性も広がります。生徒のプレゼンテーションもハード面からサ
ポートできます。

① 高校の枠を越えた授業・学習内容への挑戦。

② 地道な努力（凝縮）と能力の开花（拡散）する時
期を繰り返しながら、人は成長しますが、この凝縮と
拡散の過程が部活動や学校行事だけではなく、学習活動
でも明確に実感できる機会にすること。

③ 資源のない日本が求める国際競争力のある人材育
成を、国際競争力の中でも重要な柱とされる科学技術
の振興を通して貢献する。

担しながら、物事を作り上げる力のこと。自己や他者との対話は、生徒の意欲を喚起して、自律的に活動する態度が養われる。

協働力……仲間と情報を共有し、議論し、役割を分担しながら、物事を作り上げる力のこと。自己や他者との対話は、生徒の意欲を喚起して、自律的に活動する態度が養われる。

「究理Ⅰ」では、「究理Ⅱ」の基礎となる力を付けるために、サイエンスフィールドワークやミニ二課題研究などを行います。

『究理Ⅰ』では、『究理Ⅱ』の基礎となる力を付けるために、サイエンスフィールドワークやミニ二課題研究などをています。

平成二十四年度

職員人事異動

(敬称略)

十年勤続

赤尾 宗典

福永 晴実

三田村伸之 吉田 忠泰

転退	出職	入職
村居 利美 (再任用終了)	利美 (教頭)	西坊 晴美 (教頭)
辻 浩一 (教頭)	浩一 (教頭として)	篠宮 寿夫 (数学)
三上 保彦 (教頭として)	河瀬高校へ	久保田秀和 (数学)
	安曇川高校へ	京極 秀伸 (英語)
	東北部流域下水道事務所へ	浅見ひとみ (副主幹)

虎高20年の教師生活の思い出

虎高18回 村居 利美

今春で再任用期間の4年を含め、教壇を降りますことになりました。41年の教師生活も後半20年を経て、母校の虎姫高校で過ごさせていただき、本当に幸せであったと思います。

H R 担任として卒業生を送り出したのは46回生のみで、そのほとんどが教務課でしたので、担任

としてより、「生物」の教科担任として覚えておいてくださった方が多いと思います。赴任したころの虎姫高校の印象はすごくアカデミックな学校だと感じたことです。先生方、生徒諸君が大層知的好奇心が高いことでした。数学のS 大先生から生物に関するハーディ・ワインベルグの法則についての質問があつたり、放課後多くの先生方が集まってC 40 のサッカーボール立体模型をつくったり大層楽しい時間を過ごしたのを思い出します。

地域の方からも、ホタルの飼育とか、珍しい植物が見つかったから名前を教えてほしいとかの問い合わせもありましたように記憶しています。

姉水会の思い出は80周年事業を中心に事務局として関係させていただいたことです。樋口会長、伊藤副会長のもと、「智徳館」建設という大事業を完成させていただきました。多くの姉水会会員の皆様のパワーのすごさを感じさせていただきました。18回の同窓生の方々にも大変な協力をいたしました。この流れは90周年事業にも受け継がれました。

20年の間に旧体育館が智徳館に生まれ変わり、温室内が撤去され、自転車小屋の大きな柳の木や、前庭のヒマラヤシーザーもほとんど無くなりました。「賢くなる水」も数年前の校舎耐震工事で、

その様を変えました。黒板の授業も電子黒板にわり、チャートが電子ペンに変わり大きく様変わりしています。しかしながら、第2代目のプールの水源だった「強くなる水」は健在で、藤棚の下に清水を湧出し部活の生徒ののどを潤しています。また温室横のモクレンも巨木になり、毎年春には見事な花を咲かせています。いずれも虎姫高校のHP に久保田先生の見事な写真が掲載されていますので是非ご覧下さい。

平成24年度から、新しいSSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業が始まりました。虎姫高校のような小規模校でSSH の指定を受けられたことは快挙だと思います。その分これからが大変だと思います。先進的に取り組んできた高大連携事業や、中高一貫の研究で取り組んだ実績をみてください

64回生 大学・短大・専門学校等合格者数一覧表

【国公立大学】

大学	総合格数
北海道大	1
筑波大	1
富山大	2 (1)
金沢大	5
福井大	3
信州大	2
岐阜大	4 (1)
静岡大	1
名古屋大	4
名古屋工大	1
三重大	2
滋賀大	14
滋賀医大	1
京都大	2 (1)
京都芸術大	1
大阪教育大	2
神戸大	3
和歌山大	2 (1)
鳥取大	1 (3)
岡山大	1
広島大	5
鳴門教育大	1
香川大	2
媛大	1
高知大	1
会津大	1
高崎経大	1
石川県立大	1
福井県立大	1
都留文科大	1
愛知県立大	2
三重県立看護大	1
滋賀県立大	7
大阪市立大	3
大阪府立大	2
兵庫県立大	1 (1)
県立広島大	(1)
高知工科大	(1)
神戸市外大	1
北九州市立大	1
福岡県立大	1
宮崎公立大	1
合計	90 (10)

【短期大学】

短期大学	総合格数
岐阜市立女子短	1
大垣女短	1
龍谷大短大部	1
白鳳女短	(1)
合計	3 (1)

【専門学校】

専門学校	総合格数
大津赤十字看専	1
京都第一赤看専	1
京都医療附看助	1
滋賀県立看護専	5
草津看護学校	1
京都製菓技術専	1
甲陽音楽学院	1
合計	11

【公務員】

事業所	総合格数
滋賀県職員	1
海上保安大学校	1
航空保安大学校	1
海上保安学校	1
合計	4

()は過年度で外数



64回生(平成24年4月卒) 大学等合格者数・進学者数

	合格者数	進学者数	過年度合格者数
国立大学	65	64	7
公立大学	25	21	3
私立大学	397	88	32
公立短期大学	1		
私立短期大学	2	1	1
専門学校等	11	7	
公務員等	3	3	
その他		13	
合計	504	197	43



今年度永年勤続表彰

母校に永年ご勤続をいただき、後輩の教育にご尽力されている先生方の労に対し、総会において会長より感謝状と記念品が贈呈されます。

転入	転出	退職
西坊 晴美 (教頭)	篠宮 寿夫 (数学)	笹原 法子 (国語)
大橋慰佐男 (国語)	高田 武治 (数学)	久保田秀和 (数学)
高井 浩 (理科)	浅井 駿 (英語)	京極 秀伸 (英語)
福永 紘子 (英語)	宮崎 望 (主任主事)	浅見ひとみ (副主幹)
中央子ども家庭相談センターより		

転入	転出	退職
西坊 晴美 (教頭)	篠宮 寿夫 (数学)	笹原 法子 (国語)
大橋慰佐男 (国語)	高田 武治 (数学)	久保田秀和 (数学)
高井 浩 (理科)	浅井 駿 (英語)	京極 秀伸 (英語)
福永 紘子 (英語)	宮崎 望 (主任主事)	浅見ひとみ (副主幹)
中央子ども家庭相談センターより		

今春で再任用期間の4年を含め、教壇を降りますことになりました。41年の教師生活も後半20年を経て、母校の虎姫高校で過ごさせていただき、本当に幸せであったと思います。

H R 担任として卒業生を送り出したのは46回生のみで、そのほとんどが教務課でしたので、担任

としてより、「生物」の教科担任として覚えておいてくださった方が多いと思います。赴任したころの虎姫高校の印象はすごくアカデミックな学校だと感じたことです。先生方、生徒諸君が大層知的好奇心が高いことでした。数学のS 大先生から生物に関するハーディ・ワインベルグの法則についての質問があつたり、放課後多くの先生方が集まってC 40 のサッカーボール立体模型をつくったり大層楽しい時間を過ごしたのを思い出します。

地域の方からも、ホタルの飼育とか、珍しい植物が見つかったから名前を教えてほしいとかの問い合わせもありましたように記憶しています。

姉水会の思い出は80周年事業を中心にして事務局として関係させていただいたことです。樋口会長、伊藤副会長のもと、「智徳館」建設という大事業を完成させていただきました。多くの姉水会会員の皆様のパワーのすごさを感じさせていただきました。18回の同窓生の方々にも大変な協力をいたしました。この流れは90周年事業にも受け継がれました。

20年の間に旧体育館が智徳館に生まれ変わり、温室内が撤去され、自転車小屋の大きな柳の木や、前庭のヒマラヤシーザーもほとんど無くなりました。「賢くなる水」も数年前の校舎耐震工事で、

その様を変えました。黒板の授業も電子黒板にわり、チャートが電子ペンに変わり大きく様変わりしています。しかししながら、第2代目のプールの水源だった「強くなる水」は健在で、藤棚の下に清水を湧出し部活の生徒ののどを潤しています。また温室横のモクレンも巨木になり、毎年春には見事な花を咲かせています。いずれも虎姫高校のHP に久保田先生の見事な写真が掲載されていますので是非ご覧下さい。

平成24年度から、新しいSSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業が始まりました。虎姫高校のような小規模校でSSH の指定を受けられることは快挙だと思います。その分これからが大変だと思います。先進的に取り組んできた高大連携事業や、中高一貫の研究で取り組んだ実績をみてください

ここに、大きくなりたい祈りたいことをしてく

す。

モクレンと園芸部の小屋



三一角卓

(上位成績のみ)

平成二十四年度分

文化部

個人戦女子	優勝	村上浩崇
個人戦男子	準優勝	丸山喜紀
全国高校将棋選手権大会県予選	優勝	村上浩崇

平成二十三年度分

秋季総体

水泳部

男子	100m 背泳ぎ 6位	鷺見正平
女子	200m 自由形 5位	竹村茉歩

陸上部

西村顕志

近畿大会3位

西村顕志

近畿大会3位

押谷真鈴

近畿大会4位

西村顕志

近畿大会3位

文化部

囲碁・将棋部

囲碁

囲碁